

岡橋暢夫さんの思い出、

野呂和子

教会が礼拝出席される岡橋さんのアシストを始める時、礼拝委員会が中心になって始まったように思います。当時礼拝委員のひとりとして私もメンバーになりました。私の場合は礼拝アシストと言いましても上手にアシストはできませんでした。岡橋さんのおおらかな優しさに助けられ、教会にこられた時、「おはようございます」と挨拶を交わし始めました。東大阪で開催されたフィギュアスケートショーを見て感動されと話されていたお顔の輝きが印象的でした。引っ越される前の礼拝欠席は何かとお忙しくされているのかと思っていましたが、お連れ合い様とその教え子さんとの三人で最後の大坂巡りをされていたとか。気持ちに余裕のある生活ぶりはまさに岡橋さんです。

岡橋さんお元気で！

塩川陸夫

岡橋暢夫さんと北千里教会との出会いと歩みは次の通りです。

2000年7月に初来会、2015年7月に転入(狛江教会より)、2025年10月に転出(大宮教会へ)、その2年前の2023年10月にさいたま市へ転居しておられます。ちなみにお生まれは1956年です。

“万博の花の写真”を見て頂きたいと思い、毎月1回メールをお送りしており、それは今も続いております。そのメールに岡橋さんは面倒がらずにご自身の近況などを返信してくださいます。

さいたま市へ移られた後の返信では、ご夫妻共に懐かしい人との再会や思い出の場所に行った時の喜びをたくさん知らせてくださり、転居されたのは本当に良かったとつくづく感じました。

今は讃美歌465「神ともにいまして」を歌いながら、これからもお元気でお過ごしくださいと心から願い祈っています。